

白石高等技術専門校

「社会インフラに欠かせない電気通信設備。これからますますニーズは高まる」と話す中西浩二副主任指導員

生徒たちは通信インフラの設備に関する技術だけでなく電設法なども学ぶ

「質の高い仕事を目標してほしい」と中西副主任指導員は考えている

白石高等技術専門校は2年課程のプログラムエンジニア科(定員20人)と、情報通信ネットワーク科(同20人)の2科体制だ。

情報通信ネットワーク科は「座学では電気、電子の基礎的な知識から、通信技術、通信システムの仕組み、それに関わる法律、実習では設備を構築するための技法、テクニクを学びます。そう教えてくれるのは中西浩二副主任指導員。通信は現代社会に欠かせないインフラとなりました。通信インフラ構築のための工事やメンテナンスを担当する技術者を育てるのが本校情報通信ネットワーク科です」

同科では通信設備業界で働く上でいわば一つの「武器」となる工事担任者の資格取得を大きな目標に掲げる。現状、「合格率は約77%であるが、更なる向上を目指している」と中西副主任指導員は意欲を見せている。なお、第一級陸上特殊無線技士資格は修了すると得られる。さらに、在学中には工事担任者の第一級デジタル通信資格とともに第二種電気工事士の資格取得を推奨し、手厚くサポートする。同科の求人倍率は3.6倍ほどと高く、就職率はほぼ100%だ。

現代社会に欠かせない通信設備技術者を育成する



「社会インフラに欠かせない電気通信設備。これからますますニーズは高まる」と話す中西浩二副主任指導員



生徒たちは通信インフラの設備に関する技術だけでなく電設法なども学ぶ



「質の高い仕事を目標してほしい」と中西副主任指導員は考えている

白石高等技術専門校

所在地/白石市白川津田字新寺前5-1 □設置科概要/情報配線施工、電気工事などの知識と技術を習得できる情報通信ネットワーク科と、プログラマーやシステムエンジニアになるための訓練を行うプログラムエンジニア科を設置

TEL 0224-35-1511 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/srkogsn/>



情報通信ネットワーク科修了(2019年度)

佐久間 疾風さん Hayate Sakuma

和光電機通信工業株式会社 仙台支店(仙台市)

ライフラインを守る仕事にやりがいを感じています。

高校時代、自分は卒業してすぐに働ける自信がなく、何かをしっかりと勉強してから就職しようと考えていました。そんなある日、ふとしたときに自分の携帯電話が目に入ったんです。これを作ることで人々の生活の一部に携われるのではないかと、そうした思いが湧き起こり、通信関係の分野を学べる地元の白石高等技術専門校に入学しました。高技専では主に、陸上特殊無線技士や工事担任者といった資格の取得に向けた勉強のほか、実際の現場で用いられる測定器などを使用した演習などを行いました。それまで学んだことのない分野だったので最初はつまずくことも多かったですが、先生たちが優しく分かりやすい説明をしてくださったおかげで、気を張ることなく授業を受けられたのを覚えています。現在の職場では、携帯電話の電波の保守、品質調査を主に担当しています。ライフラインを守る仕事に、今は大きなやりがいを感じています。

和光電機通信工業株式会社 仙台支店

仙台市青葉区栗生6-4-2 TEL 022-748-7735
<http://wako-denki.co.jp/>



大崎高等技術専門校

大工仕事の基礎を学ぶ資格取得も強力にサポート

木の家づくり科修了(2019年度)

有住 裕至さん Yuji Arizumi

佐信木材株式会社(大崎市)

入社後道具の扱いに困らなかったのは高技専で学んでいたからこそです。

大学進学を目指していたのですが、現役では不合格。意に沿わず浪人生となったのですが、その間は親と一緒に、「手に職をつけることも選択肢に入れようか」といろいろ考えていました。夏になって、大崎高等技術専門校木の家づくり科のオープンキャンパスになんとか参加してみたのですが、これがすごく興味深く、ここで学びたいと思い、入学しました。まさに転機でした。大崎高技専での2年間は本当に充実していて知識も付き、道具であれば、刃物も自分で研げますし、とにかく扱えるようになっていっているというのは就職してみて、非常に助けられていることです。手刻みで仕事をする会社で働きたいと、社寺建築にも強い佐信木材を希望したところ、無事採用となり2年強、毎日とても充実しています。先輩方の技術力の高さには心底驚かされますが、自分も頑張って40歳ぐらいには棟梁になりたいです。

大崎高等技術専門校は現在、2年課程の木の家づくり科(定員15人)と、1年課程の電気科(同20人)の2科体制だ。

木の家づくり科は文字通り、木造建築に携わるいわゆる大工を育成する科である。

「2年間、木造建築の基礎から応用まで学ぶことで、就職したときに専門用語が分からない、といったようなこともなくスムーズに現場に入っていきます。そう話すのは梅津美千代指導員。1級建築大工技能士の資格を持つ。木の家づくり科には例年、1人は女子訓練生がいるという。梅津指導員によれば「女子訓練生の就職先から大変喜ばれています。女子は現場で気配りができる、お客さんとのコミュニケーションがスムーズだといった声をよく聞きます」とのこと。若手技能者は男女問わず、建築業界で引つ張りだこのようだ。就職率は毎年ほぼ100%を誇るが、在学中に2級建築大工技能士の資格に挑戦させることで、就職後の心構えも備わる。修了後、現場での活躍に期待だ。

佐信木材株式会社

大崎市古川狐塚字忽滑57
 TEL 0229-28-1941 <http://sashin.co.jp/>



梅津指導員は「2年間みっちり大工の基礎を身に付けば、現場で戸惑うことも少ないです」と話す



2年生は協力して茶室を作るのが恒例。それぞれがより良いものを作るうと担当箇所の作業に真剣に取り組む



「安全行動をまずは徹底して教える」と梅津指導員。けがなどのないよう細心の注意を払い指導する

大崎高等技術専門校

所在地/大崎市古川米倉字上屋敷51 □設置科概要/電気科、木の家づくり科を設置。それぞれ第一種電気工事士、2級建築大工技能士などさまざまな資格取得に挑戦できる。

TEL 0229-22-1357 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oskogi/>

